

「フューチャー・デザイン×水道」で仲間を増やすプロジェクト 2022年度成果発表

特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて

2023年11月

■ 活動実績

フューチャーデザインの実施に取り組むことで、将来世代の利益を考える仲間を増やすプロジェクトを展開して水道事業の持続可能性の後押しになることを目指して活動に取り組みました。

#	時期	イベント名
1	2022.10.31	フューチャー・デザインと水道を理解するためのシンポジウム
2	2023. 1.31	フューチャー・デザインとナッジを理解するためのシンポジウム
3	2023. 3. 5	未来を考え、地域課題に取り組むためのファシリテーター養成講座

1.フューチャー・デザインと水道を理解するためのシンポジウム

フューチャーデザインによる住民発案の手法に向けてシンポジウムを開催。 (2022.10.31開催)

大阪大学大学院 原圭史郎氏を講師にお迎えして「フューチャーデザイン持続可能な未来社会を道ぶくために」と題してご講演いただきました。更に、水ジャーナリストでアクアスフィア・水教育研究所の橋本淳司氏に「新水道ビジョン2013の実現に向けて」と題してご講演いただきました。

講演終了後、講演内容も踏まえて“水道の住民オーナーシップに向けたフューチャーデザインの可能性”をテーマとして、ご講演いただいた原氏と橋本氏に加えて矢巾町政策推進監である吉岡律司氏をお迎えしてパネルディスカッションを実施いたしました。

フューチャーデザインとは何かと、水道事業の継続性さらに事業継続のためのフューチャーデザインの可能性を追求することができたシンポジウムとなりました。

32名の参加者(オンライン参加含)を数え、多様な質問や意見が活発に交わされました。

本シンポジウムは、(一財)日水コン水インフラ財団による助成金により実施いたします

フューチャー・デザインと 水道を理解するための シンポジウム

参加費
無料

フューチャー・デザインによる
住民発案の手法にむけて

2022
10/31日
10:00~12:30

会場 いわて県民情報交流センター・アイーナ8階 804B会議室



原圭史郎氏



橋本淳司氏

講演

「フューチャー・デザイン・
持続可能な未来社会を導くために」

講師：原 圭史郎氏 (大阪大学大学院工学研究科)

「新水道ビジョン2013の実現にむけて」

講師：橋本 淳司氏
(水ジャーナリスト アクアスフィア・水教育研究所)

パネルディスカッション

「水道の住民オーナーシップに向けた
フューチャー・デザインの可能性」

原 圭史郎氏 (大阪大学大学院工学研究科)

橋本 淳司氏 (水ジャーナリスト、アクアスフィア・水教育研究所)

吉岡 律司氏 (矢巾町 政策推進監)

主催：特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて
後援：岩手県・矢巾町・岩手県環境保全連絡協議会

問い合わせ先

NPO法人環境パートナーシップいわて
担当：佐々木、森
TEL / 019-681-1904
FAX / 019-681-1906
E-mail / iwate-eco@gmail.com
HP / http://www.iwate-eco.jp
※お問い合わせは、10:00-17:00(土曜)までです。

2.フューチャー・デザインとナッジを理解するためのシンポジウム

水道等のインフラの持続可能性を考えるための思考法についてシンポジウムを開催。(2023.1.31開催)

10月のシンポジウムでご講演いただいた大阪大学大学院 原圭史郎氏を再び講師にお迎えして「フューチャーデザインの実践と展望ー持続可能な未来社会を導くためにー」と題してご講演いただいた後に、環境省大臣官房総合政策課企画評価・政策プロモーション室ナッジ戦略企画官である池本忠弘氏に「ナッジと行動変容ー科学で背中をそっと後押しするー」と題してご講演いただきました。

講演終了後、講演内容も踏まえて“水道の住民オーナーシップに向けたフューチャーデザインの可能性2”として、ご講演いただいた原氏と池本氏に加えて矢巾町政策推進監である吉岡律司氏をお迎えしてパネルディスカッションを実施いたしました。

フューチャーデザインにナッジの思考を加えて、水道事業の継続性さらに事業継続のための可能性を追求することができたシンポジウムとなりました。

26名の参加者(オンライン参加含)を数え、フューチャーデザインにナッジの理解を加えることでの行動変容を促す機会となりました。

本シンポジウムは、(一財)日水コン水インフラ財団による助成金により実施いたします

フューチャー・デザインと ナッジを理解するための シンポジウム

参加費
無料

-水道等のインフラの持続可能性を
考えるための思考法-

2023
1/31火
13:30~16:30
オンライン併催

会場 いわて県民情報交流センター・アイーナ7階 小田島組☆ほーる



原 圭史郎氏



池本 忠弘氏

講演

「フューチャー・デザインの実践と展望ー持続可能な未来社会を導くために」

講師：原 圭史郎氏 (大阪大学大学院工学研究科)

「ナッジと行動変容ー科学で背中をそっと後押しするー」

講師：池本 忠弘氏
(環境省 大臣官房 総合政策課 企画評価・政策
スロモーション室 ナッジ戦略企画官)

パネルディスカッション

「水道の住民オーナーシップに向けたフューチャー・デザインの可能性2」

吉岡 律司氏 (矢巾町 政策推進監)
原 圭史郎氏 (大阪大学大学院工学研究科)
池本 忠弘氏 (環境省 大臣官房 総合政策課 企画評価・政策
スロモーション室 ナッジ戦略企画官)

主催：特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて
後援：岩手県・矢巾町

問い合わせ先

NPO法人環境パートナーシップいわて
担当：佐々木、森
〒020-0045 盛岡市盛岡駅前西側1-7-1 アイーナ5F
TEL / 019-681-1904
FAX / 019-681-1906
E-mail / iwate.eco@gmail.com
HP / http://www.iwate-eco.jp

3.ファシリテーター養成講座(フューチャーデザインワークショップ)

未来を考え、地域課題に取り組むためのスキルと心構えを身につけるとして開催。(2023.3.5開催)

ファシリテーター養成講座として3月4日～3月5日の2日間のカリキュラムの中に、フューチャーデザインのワークショップを組み込んで実施いたしました。1日目は「脱炭素まちづくりカレッジ」ワークショップを2名のファシリテーターをお迎えして実施した後に、「ファシリテーション講座」と題して一般社団法人地球温暖化防止全国ネット事務局長の平田裕之氏に講師を担当して実践的なファシリテーションノウハウを学びました。2日目は1日目の経験を活かしつつ矢巾町企画財政課の工藤雄平氏を講師にお迎えして「フューチャーデザインワークショップ」と題してグループごとに現在の課題を未来人となった中で考える体験を実施いたしました。参加者数は対面の実施に限られたため12名程度の参加に止まりましたが、未来人として現在の課題について考えることは、新たな視点として参加者の体験に活かされた結果となりました。

未来を考え、地域課題に取り組むための
ファシリテーター養成講座
～ファシリテーションを学び、体験し、実践し、
地域の課題解決に取り組むスキルと心構えを身につける～

参加無料
募集人数：20名

こんな方！
子供たちの未来を地域と一緒に考えていきたい方
会議やワークショップの運営・ファシリテーションに関心のある方
地域の社会課題に取り組みたい方
気候危機や脱炭素まちづくりに関心のある方

STAGE1 <ワークショップ>
脱炭素まちづくりカレッジ
気候危機や脱炭素の基礎知識を身につけ、持続可能なまちづくりや地域づくりについて学ぶことができるカードゲーム型プログラム「脱炭素まちづくりカレッジ」を体験します。
日時：3月4日(土) 10時～12時
会場：学習室1
講師：渋谷晃太郎氏・高橋直樹氏
(脱炭素まちづくりカレッジファシリテーター)

STAGE2 <講座>
ファシリテーション講座
「脱炭素まちづくりカレッジ」ワークショップ体験を振り返り、ファシリテーションの基礎を学び、実践します。
日時：3月4日(土) 13時～16時
会場：学習室4
講師：平田裕之氏
(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット事務局長)

STAGE3 <ワークショップ>
フューチャー・デザインワークショップ
未来にタイムスリップして現在の課題を考える、フューチャー・デザインワークショップを体験します。
矢巾町は、未来を見据えたまちづくりを実現するため、「フューチャー・デザイン」という手法を取り入れた政策を進めています。
日時：3月5日(日) 10時～12時
会場：学習室2
講師：工藤優平氏(矢巾町役場企画財政課)


「COI-NEXT若手サテライトにおける脱炭素・未来ワークショップ及び未来ビジョン共創ワークショップ」事業
主催：岩手県立大学
実施主体(委託)：特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

日時
2023年
3月4日(土) 10時～16時
3月5日(日) 10時～12時

会場
岩手県立大学アイーナキャンパス
〒020-0045
岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号
いわて県民情報交流センター・アイーナ7階

お申込み・お問い合わせ
特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて
メール：iwate.satellite.coinext@gmail.com
電話：019-681-1904 FAX：019-681-1906

お申込み
岩手県立大学
COI-NEXT



■ 総括

2022年度の活動を振り返って

フューチャーデザインという手法を取り入れ、未来人として事業継続の可能性を考えることに視点を置き、具体的には自治体の水道事業の持続性について考えナッジ理論との組み合わせた地域課題解決に結び付ける後押しをすることを目的として活動しました。結果として、コロナ禍の影響を受け思うような目標で実行できなかった部分が多々ありますが、フューチャーデザインの可能性やナッジとの組み合わせの可能性を追求することは、参加していただいた皆様からの声で実感として得ることができたを受け止めています。

提示される課題は様々ありますが、特に取り組みが必要な課題として、以下の3点が挙げら取り組みの継続が必要です。

[今後に向けての課題]

- フューチャーデザインとナッジ理論有識者の拡大取り組み
- フューチャーデザインを適用した、具体的な事業持続性への可能性追求とナッジ理論の取り込み方実証
- 組織力の強化として、フューチャーデザインやナッジスキル習得者創出

ご清聴、ありがとうございました。